

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成21年12月22日

化学物質等のコード : 0335-2336

化学物質等の名称 : ほう酸コバルト()

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 爆発性、燃焼性なし。
有害性 : 経口において弱い急性毒性あり。
皮膚に対して刺激性を有する。
皮膚及び呼吸器に対し、感作性のおそれがある。
発がんのおそれがある。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : ほう酸コバルト()
成分及び含有量 : 95.0%
化学式または構造式 : CoB4O7
分子量 : 214.17
官報公示整理番号(化審法): 1-1051
CAS No. : データなし

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 接触した身体部位を水で洗い流す。
汚染した衣類類は洗い落としてから着用する。
飲み込んだ場合 大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 燃焼性はないが、可能であれば容器を火災区域から移動させる。
消火剤 水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など

6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。飛散したものは、できるだけ掃き集めて、空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な排液が河川などに排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱をしない。
使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
保管上の注意
密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会 : 報告なし
ACGIH : TWA 0.05mg/(Co)/m3
OSHA : STANDARD-air;
TWA 0.1mg/(Co)/m3(fume and dust)

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

保護具

・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 紅色～薄紫色の結晶
溶解度 水にほとんど溶けない。鉱酸に可溶。
その他 データなし

10. 安定性及び反応性

引火点 なし(不燃性)
可燃性 なし
安定性・反応性 通常取扱条件のもとでは安定である。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性

急性毒性 データなし
亜急性毒性 データなし
慢性毒性 データなし

刺激性(皮膚、眼) : 皮膚刺激性あり

感受性 : あり(ニッケル化合物として)
当該製品のデータはないが、ニッケル化合物として日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告(2005)で気道感作性物質(第2群)、皮膚感作性物質(第1群)に分類されている。

変異原性 : データなし

変異原性(微生物、染色体異常) : データなし

皮膚腐蝕性 : データなし

発がん性 : 当該製品のデータはないが、ニッケル化合物として、NTPでR(ヒトに対して発がん性がある)に分類され、ACGIHでA4(発がん分類できない)(ニッケル水溶性化合物)に分類され、また、IARCでグループ1(ヒトに対して発がん性がある)に分類され、さらに、日本産業衛生学会で「第1群」(人間に対して発がん性がある物質)に分類されている。

生殖毒性 : データなし

催奇形性 : データなし

安全管理上の留意事項 : データなし

その他 : データなし

その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)

: データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合は、次のいずれかの方法による。
・水に溶かし、アルカリ水溶液を加えて処理し、沈殿濾過して埋立て処分する。なお、多量の場合は専門業者に委託する事が望ましい。
・焙焼法により金属コバルトとして回収する。なお、この方法による場合は、専門家に委託する事が望ましい。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制
陸上輸送 : 規制なし
海上輸送 : 規制なし
航空輸送 : 規制なし
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当

15.適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物 No.172
法第57条の2(令第18条の2)
化学物質管理促進法(PRTR法)：
第一種指定化学物質 No.132「コバルト及びその化合物」
(改正前PRTR法：1-100「コバルト及びその化合物」)
第一種指定化学物質 No.405「ほう素化合物」
(改正前PRTR法：1-304「ほう素及びその化合物」)
毒物及び劇物取締法：非該当
消防法：非該当
船舶安全法(危規則)：非該当
航空法：非該当
水質汚濁防止法：有害物質「ほう素及びその化合物」
土壌汚染対策法：特定有害物質「ほう素及びその化合物」

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。